

高城町文化財調査報告書 第13集

町内遺跡  
発掘調査報告書Ⅲ

2003

高城町教育委員会

## 序

都城盆地の北東部に位置する高城町は、雄大な霧島を望む自然豊かな町であると共に、県指定文化財「高城町古墳群」、  
「穂満坊のあげ馬」を始め、数多くの有形・無形文化財が残る歴史と文化の町でもあります。

本書は国・県の補助を受け平成14年度に実施した埋蔵文化財発掘調査の記録です。本年度は開発予定地において文化財の有無を確認する試掘調査に加え、町内4例目となる地下式横穴墓の調査も実施されました。この報告書が埋蔵文化財行政の一資料としてだけでなく、生涯学習の場において一般町民の方々に広く活用され、埋蔵文化財に対するご理解を深めていただく一助となれば幸いです。

最後になりましたが、多大なるご協力を賜りました各関係機関並びに町民各位の皆様方に心から深く感謝を申し上げます。

平成15年3月

高城町教育委員会

教育長 内 田 國 昭

## 例 言

- 1 本書は高城町教育委員会が平成14年度に、文化庁及び宮崎県教育委員会の補助を受けて実施した町内遺跡発掘調査の概要報告書である。
- 2 調査は高城町教育委員会が主体となって実施した。  
調査組織は次のとおりである。

調査主体 高城町教育委員会

教 育 長 内 田 國 昭

社会教育課課長 江内谷 満 義

同 課 長 補 佐 中 村 敏 和

同 主 任 主 査 佐 藤 潤 子

同 主 事 近 沢 恒 典

調 査 作 業 員 黒 木 トミ子 黒 木 征 子 福 元 久美子

岩 永 スズ子 窪 田 エミ子 大 浦 フ ミ

有屋田 周 一 庄 屋 幸 子 馬 籠 恵 子

- 3 本書で使用した標高は高城町役場建設課が設置した基準点を使用した。
- 4 調査にあたっては土地所有者並びに高城町役場建設課・畜産課及び高城町教育委員会学校教育課の協力を得た。また石山地下式横穴墓の調査については矢部喜多夫氏(都城市教育委員会)、横山哲英氏(都城市教育委員会)よりご教授、ご助言をいただいた。
- 5 本書の執筆及び編集は近沢がおこなった。
- 6 出土遺物や調査の資料は、高城町教育委員会で保管する。

## 本文目次

1	(株)イー・アール・シー高城産業廃棄物最終処分場建設に伴う埋蔵文化財試掘調査	2
2	高城町立四家中学校教職員住宅建設に伴う埋蔵文化財試掘調査	6
3	辺地対策事業田尾・田辺線道路改良工事に伴う埋蔵文化財試掘調査	9
4	有限会社はざま養豚場建設に伴う埋蔵文化財試掘調査	11
5	石山高取原地下式横穴墓発掘調査	16

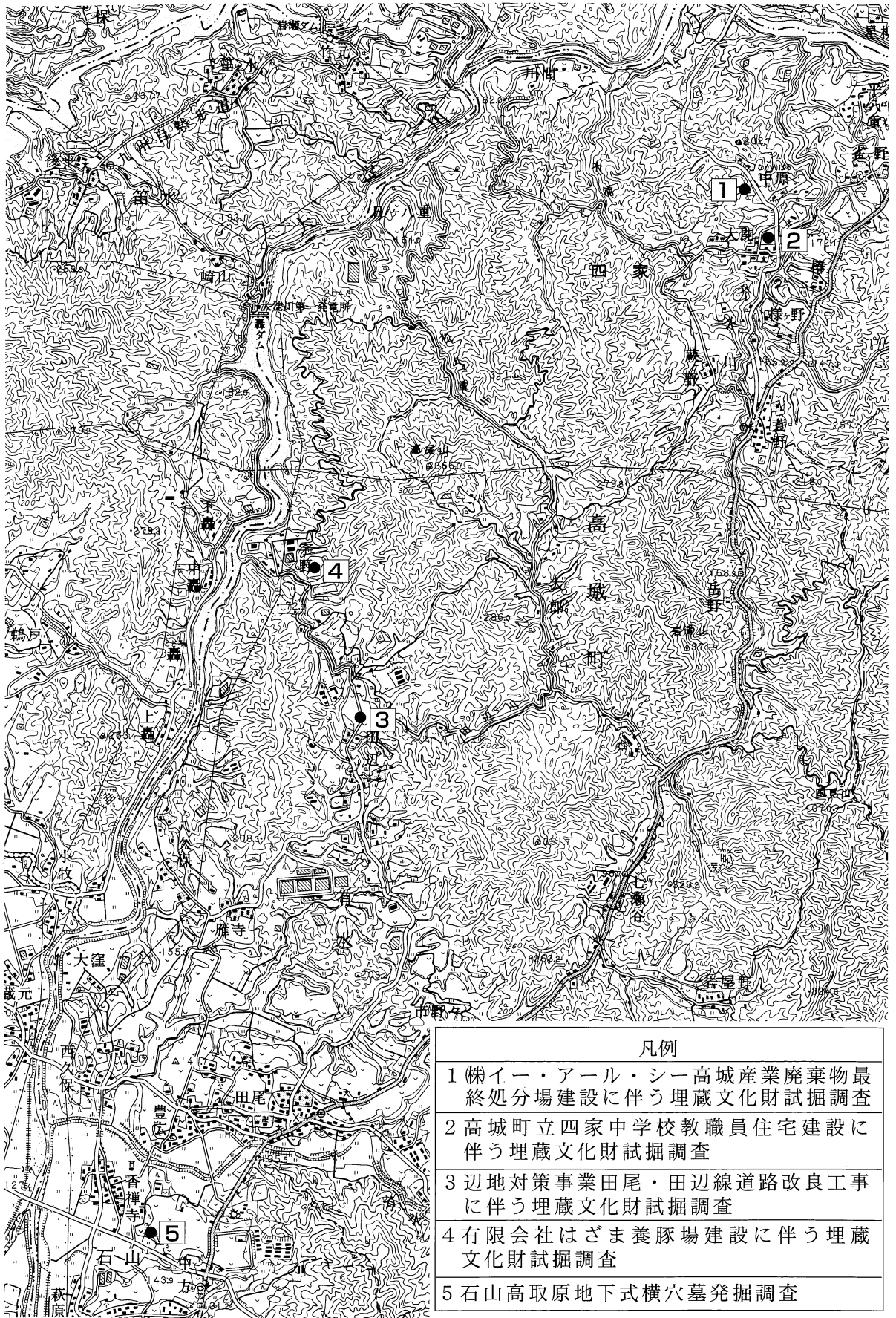
## 挿図目次

第1図	調査地位置図	1
第2図	(株)イー・アール・シー高城産業廃棄物最終処分場建設予定地位置図	3
第3図	(株)イー・アール・シー高城産業廃棄物最終処分場建設予定地地形図	3
第4図	高城町立四家中学校教職員住宅建設予定地位置図	7
第5図	高城町立四家中学校教職員住宅建設予定地地形図	7
第6図	辺地対策事業田尾・田辺線道路改良工事予定地位置図	9
第7図	辺地対策事業田尾・田辺線道路改良工事予定地地形図	10
第8図	有限会社はざま養豚場建設予定地位置図	12
第9図	有限会社はざま養豚場建設予定地地形図	12
第10図	石山高取原地下式横穴墓位置図	17
第11図	石山高取原地下式横穴墓地形図	17

## 図版目次

図版1	(株)イー・アール・シー高城産業廃棄物最終処分場建設予定地調査状況 1	4
図版2	(株)イー・アール・シー高城産業廃棄物最終処分場建設予定地調査状況 2	5
図版3	高城町立四家中学校教職員住宅建設予定地調査状況	8
図版4	辺地対策事業田尾・田辺線道路改良工事予定地調査状況	10
図版5	有限会社はざま養豚場建設予定地調査状況 1	13
図版6	有限会社はざま養豚場建設予定地調査状況 2	14
図版7	有限会社はざま養豚場建設予定地調査状況 3	15
図版9	石山高取原地下式横穴墓調査状況 1	18
図版10	石山高取原地下式横穴墓調査状況 2	19





第1図 調査地位置図 (1/50,000)

# 1 (株) イー・アール・シー高城産業廃棄物最終処分場建設に伴う埋蔵文化財試掘調査

## 位置と環境

開発実施予定地は高城町の北東部、野尻町、高岡町との町境に近い山間部に位置する。大淀川第一発電所轟ダム付近より大きく東へと流れを変える大淀川に北流し合流する穴水川の西岸、標高約160m～165mの台地上に立地し、大字四家字中原に所在する。開発実施予定地のうち西端に位置する台地上は「町内遺跡分布調査報告」(1998 高城町教育委員会)において中原第2遺跡(平安時代：遺物散布地)として記録されている。現況は西から東にむけて緩やかに下る斜面を形成し、畑地として利用されている。

穴水川流域では本遺跡の南側台地において大開遺跡、対岸において縄文時代早期の集石遺構が出土した雀ヶ野遺跡、大淀川との合流点東岸において平八重城址等多くの遺跡が確認されている。

## 調査に至る経緯

今回の調査は(株)イー・アール・シー高城産業廃棄物最終処分場建設に起因する。

調査は開発予定地の畑内に2m×2mを基本とするトレンチ10本を設定し遺構・遺物の確認を行った。

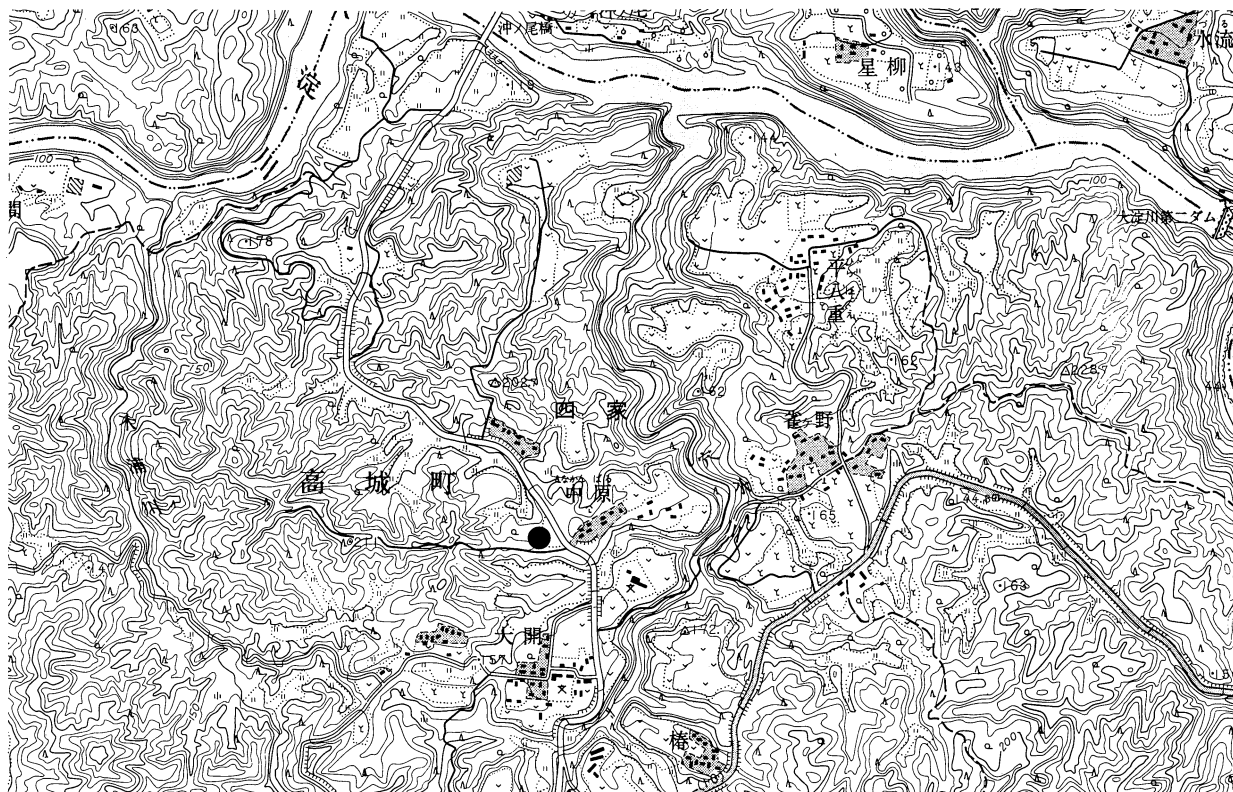
## 調査の内容

基本層序は第Ⅰ層・耕作土、第Ⅱ層・暗褐色土、第Ⅲ層・アカホヤ火山灰二次堆積層、第Ⅳ層・アカホヤ火山灰、第Ⅴ層・カシワバン、第Ⅵ層・褐色土1、第Ⅶ層・褐色土2、第Ⅷ層・小林軽石である。

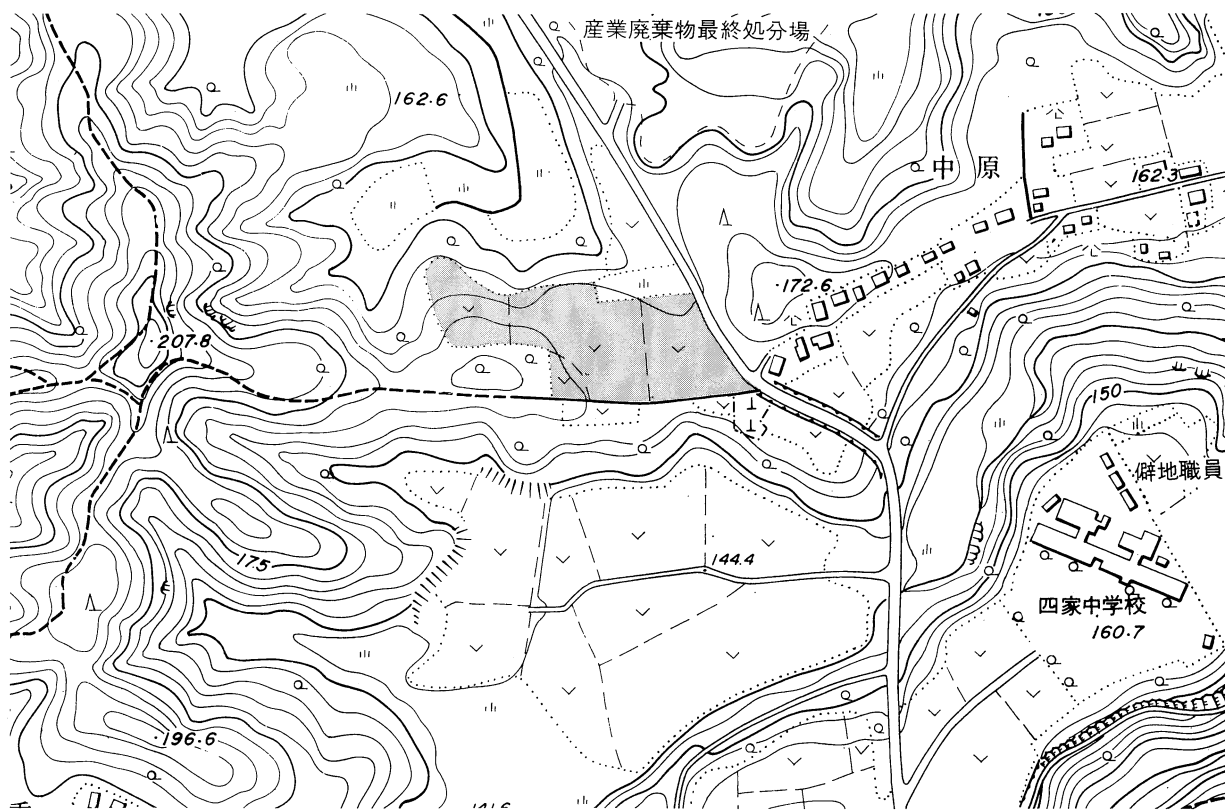
台地中央より東側に位置する1～4、6、10号トレンチにおいては耕作土直下は第Ⅱ層・暗褐色土が大きく削平を受けながらも若干残る。第Ⅲ層・アカホヤ火山灰二次堆積層より下層は良好な遺存状態であったが、1号トレンチで第Ⅵ層・褐色土1より縄文時代早期の土器片、1,6号トレンチで剥片が出土したのみで、遺構は確認されなかった。

台地南側5号トレンチでは耕作土直下が第Ⅷ層・小林軽石となり畑の造成時に削平を受けたものと考えられる。

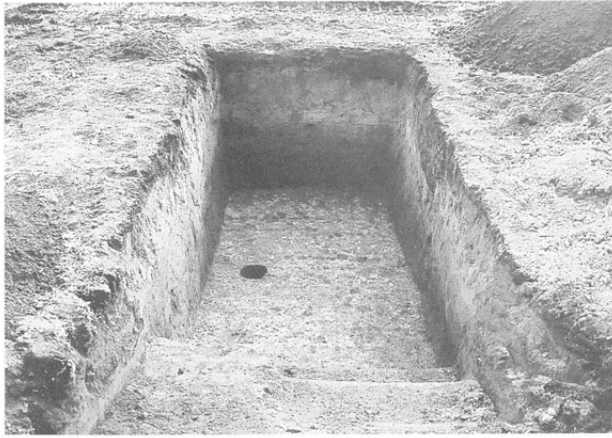
台地中央北側7号トレンチ、台地西側の8、9号トレンチの位置する畑は過去に天地返しがなされており、約1～2mの厚さで攪乱を受けていた。8号トレンチでは第Ⅳ層・アカホヤ火山灰より下層の遺存状態は良好であったが、遺物の出土及び遺構は確認はされなかった。9号トレンチは畑を造成した際に山の斜面を削り広げた部分であり、表土直下は砂岩質の地山となる。



第2図 株イー・アール・シー高城産業廃棄物最終処分場建設予定地位置図(1/25,000)



第3図 株イー・アール・シー高城産業廃棄物最終処分場建設予定地形図(1/5,000)



1号トレンチ



2号トレンチ



3号トレンチ



4号トレンチ



5号トレンチ



6号トレンチ





8号トレンチ



9号トレンチ



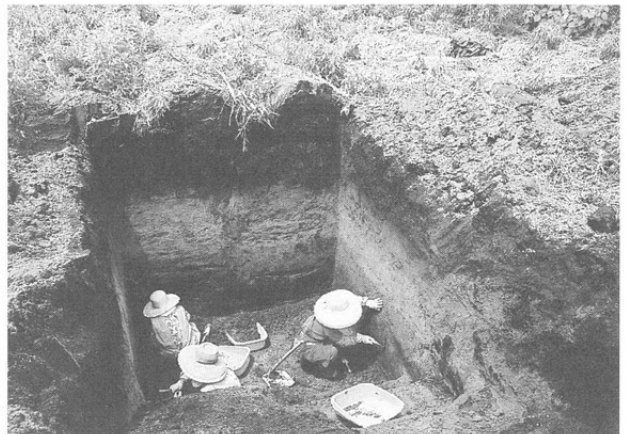
10号トレンチ



遺跡遠景



遺跡全景



作業風景



## 2 高城町立四家中学校教職員住宅建設に伴う埋蔵文化財試掘調査

### 位置と環境

開発実施予定地は高城町の北東部、野尻町、高岡町との町境に近い山間部に位置する。北流し大淀川へとそそぐ穴水川の西岸、標高約165mの台地のほぼ中央に立地し、大字四家字大開に所在する。開発実施予定地の在する台地は「町内遺跡分布調査報告」(1998 高城町教育委員会)において大開遺跡(縄文時代・弥生時代：遺物散布地)として記録されている。現在は畑地として利用されている。なお隣接地において平成12年度に高城町立四家小学校教職員住宅建設に伴い実施した試掘調査では黒曜石剥片1点が出土したのみで遺構は確認されていない(1)。

穴水川流域では本遺跡の対岸において樁遺跡、縄文時代早期の集石遺構が出土した雀ヶ野遺跡、大淀川との合流点東岸において平八重城址等多くの遺跡が確認されている。また(株)イー・アール・シー高城産業廃棄物最終処分場建設に起因し試掘調査を行った中原第2遺跡は谷を挟んだ北側の台地にあたる。

〈註〉(1) 高城町教育委員会 2000 『町内遺跡発掘調査報告書』

### 調査に至る経緯

今回の調査は高城町立四家中学校教職員住宅建設に起因する。事業規模は1,067㎡である。

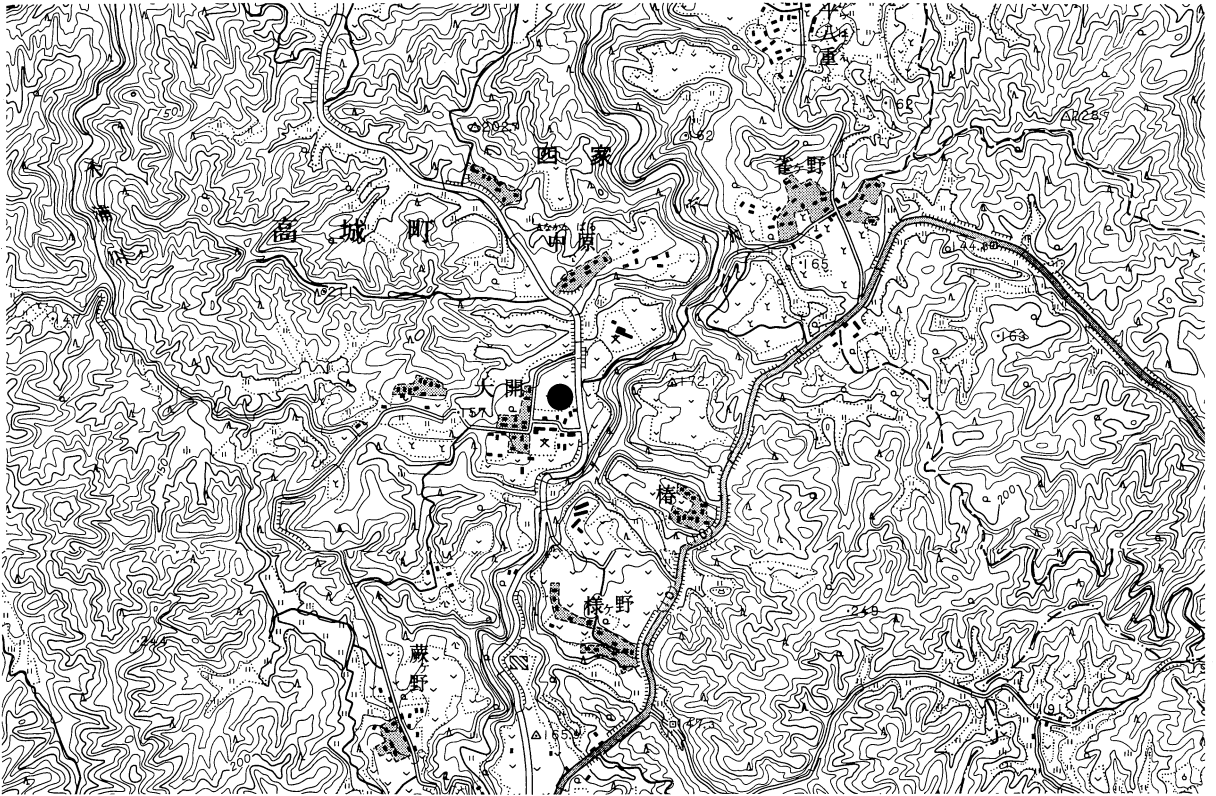
調査は畑内に2m×5m、2m×4m、2m×3mのトレンチ3本を設定し、遺構・遺物の確認を行った

### 調査の内容

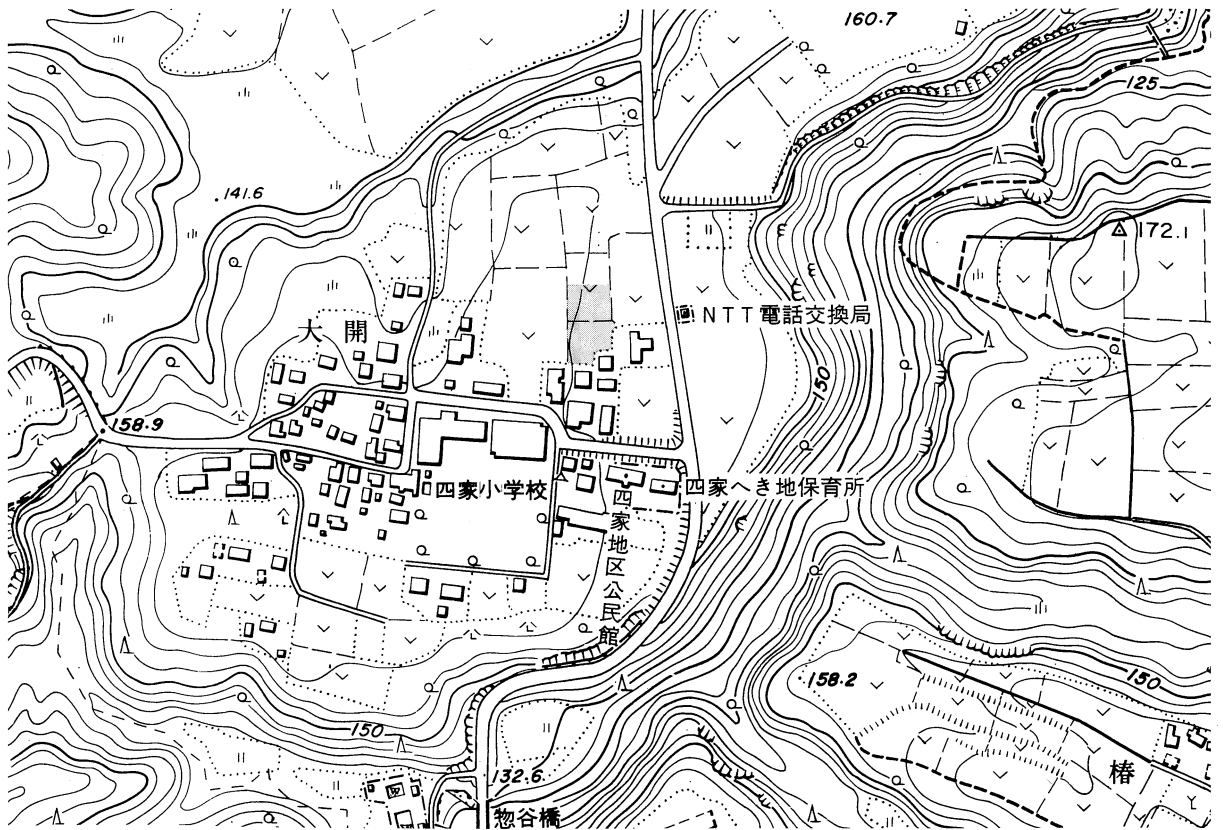
基本層序は第Ⅰ層・表土、第Ⅱ層・暗褐色土、第Ⅲ層・アカホヤ火山灰、第Ⅳ層・カシワバン、第Ⅴ層・褐色土1、第Ⅵ層・褐色土2、第Ⅶ層・小林軽石である。土層の堆積状況は2号トレンチにおいて第Ⅲ層・アカホヤ火山灰上部からが削平されていた他は比較的良好であった。またその堆積状況より、旧地形も西から東へと緩やかに下る斜面であったと考えられた。

調査地のほぼ中央に位置する1、3号トレンチでは第Ⅱ層・暗褐色土以下が良好な状態で残っていたが、遺構・遺物の出土は確認されなかった。

調査地東側に位置する2号トレンチでは、第Ⅲ層・アカホヤ火山灰の削平が進んでいたため、第Ⅳ層・カシワバン以下の調査となったが、遺構・遺物ともに確認されなかった。



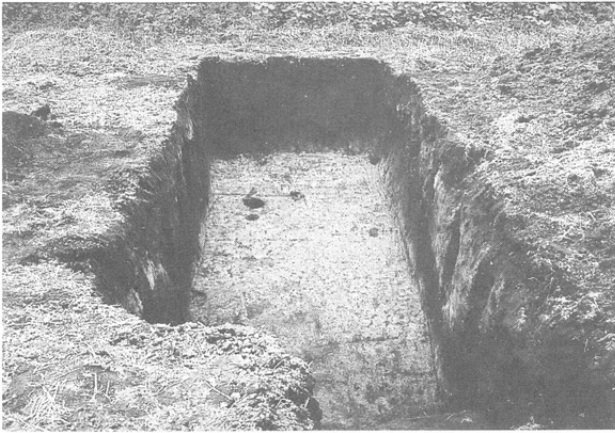
第4図 高城町立四家中学校教職員住宅建設予定地位置図(1/25,000)



第5図 高城町立四家中学校教職員住宅建設予定地形図(1/5,000)



1号トレンチ



2号トレンチ



3号トレンチ



遺跡遠景



作業風景

図版3 高城町立四家中学校教職員住宅建設予定地調査状況

### 3 辺地対策事業田尾・田辺線道路改良工事に伴う埋蔵文化財試掘調査

#### 位置と環境

開発実施予定地は高城町のほぼ中央部にあたる山間部に位置する。西流し大淀川へとそそぐ田辺川南岸、標高約170m～180mの台地から田辺川へと下る斜面に立地し、大字有水字田辺に所在する。「町内遺跡分布調査報告」(1998 高城町教育委員会)において田辺第4遺跡(縄文時代～古墳時代：遺物散布地)として記録されている。現在は緩やかな斜面に造成された畑地として利用されている。

本遺跡の周辺では台地上に田辺第5遺跡、田辺川を挟んだ対岸に田辺開拓第1, 2遺跡等が確認されている。

#### 調査に至る経緯

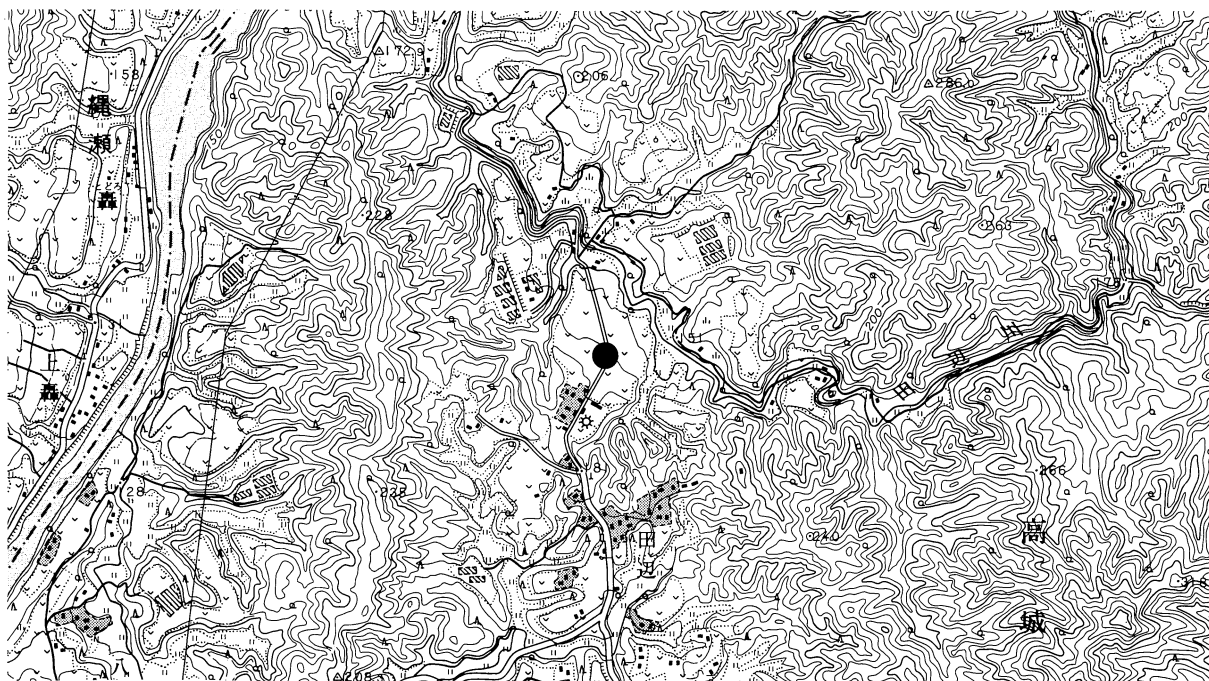
今回の調査は辺地対策事業田尾・田辺線道路改良工事に起因する。既存の町道の拡張工事で事業規模は265mである。

調査は町道脇の畑に2m×2mのトレンチ2本を設定し、遺構・遺物の確認を行った。

#### 調査の内容

1号トレンチの層序は第Ⅰ層・耕作土、第Ⅱ層・アカホヤ火山灰二次堆積層、第Ⅲ層・アカホヤ火山灰、第Ⅳ層・カシワバン、第Ⅴ層・褐色土1、第Ⅵ層・褐色土2、第Ⅶ層・小林軽石であった。遺構・遺物の出土は確認されなかった。

2号トレンチの層序は第Ⅰ層・耕作土、第Ⅱ層・灰黄褐色土(シラス)であり畑造成の際に大きく削平されたものと考えられる。遺構・遺物の出土は確認されなかった。



第6図 辺地対策事業田尾・田辺線道路改良工事予定地位置図(1/25,000)



第7図 辺地対策事業田尾・田辺線道路改良工事予定地地形図(1/5,000)



1号トレンチ



2号トレンチ

図版4 辺地対策事業田尾・田辺線道路改良工事予定地調査状況



## 4 有限会社はざま養豚場建設に伴う埋蔵文化財試掘調査

### 位置と環境

開発実施予定地は南北に長い高城町の北西部、西流し大淀川へとそそぐ田辺川と北流する大淀川との合流点に近い山間部に位置する。合流点から東へ約500m、穴水川北岸、標高約170m～180mの台地上に立地し、大字有水字田辺に所在する。

「町内遺跡分布調査報告」(1998 高城町教育委員会)において宇野第2遺跡(縄文時代・弥生時代：遺物散布地)として記録されている。現況は北東から南西にむけて緩やかに下る斜面を形成し畑地として利用されている。

また本遺跡と谷を挟んだ西側台地上には宇野第5遺跡、穴水川を挟んだ対岸には宇野第3遺跡が確認されている。

### 調査に至る経緯

今回の調査は、有限会社はざま養豚場建設工事に起因する。事業総面積は30,309㎡である。

調査は開発予定地の畑内に2m×2mを基本とするトレンチ20本を設定し遺構・遺物の確認を行った。

### 調査の内容

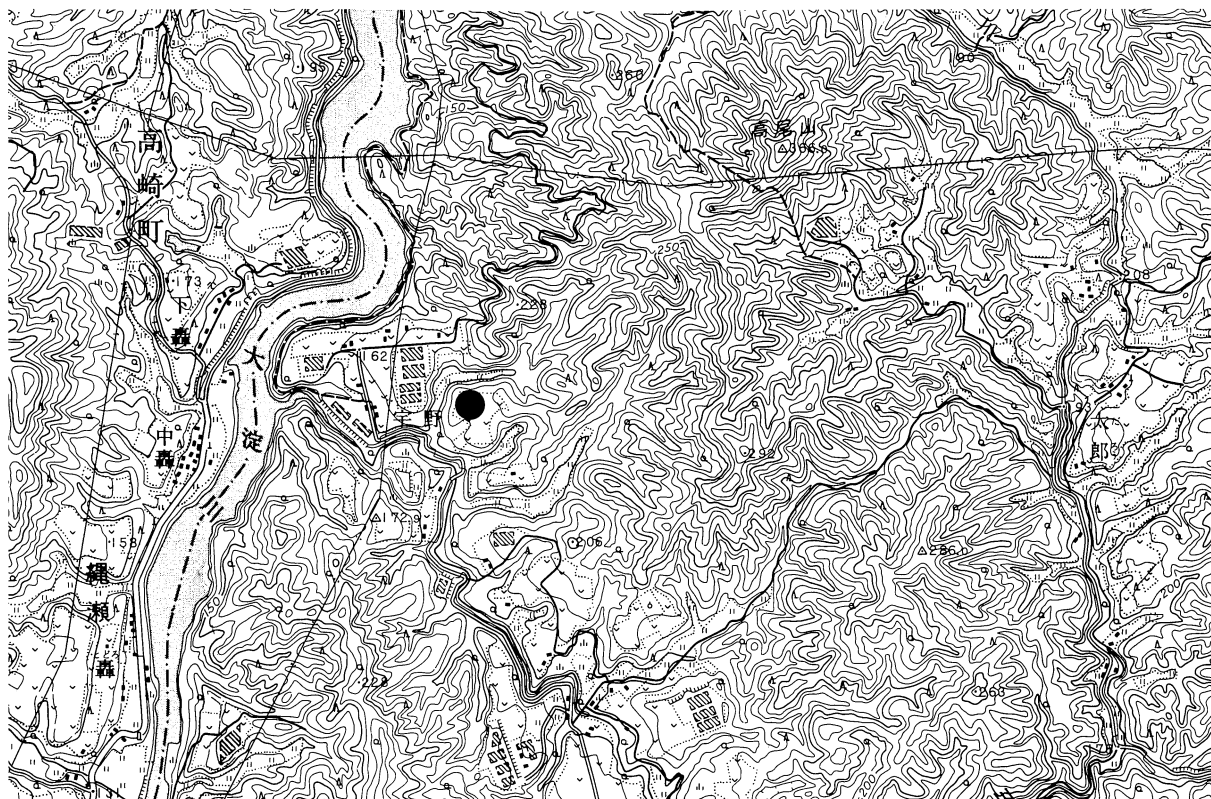
基本層序は第Ⅰ層・耕作土、第Ⅱ層・暗褐色土、第Ⅲ層・アカホヤ火山灰二次堆積層、第Ⅳ層・アカホヤ火山灰、第Ⅴ層・カシワバン、第Ⅵ層・褐色土1、第Ⅶ層・褐色土2、第Ⅷ層・小林軽石である。

北東側斜面に位置する1～4号トレンチにおいては耕作土直下が第Ⅳ層・アカホヤ火山灰、第Ⅷ層・小林軽石となる。その層序より現在の地形よりも急角度な斜面であったと考えられた。

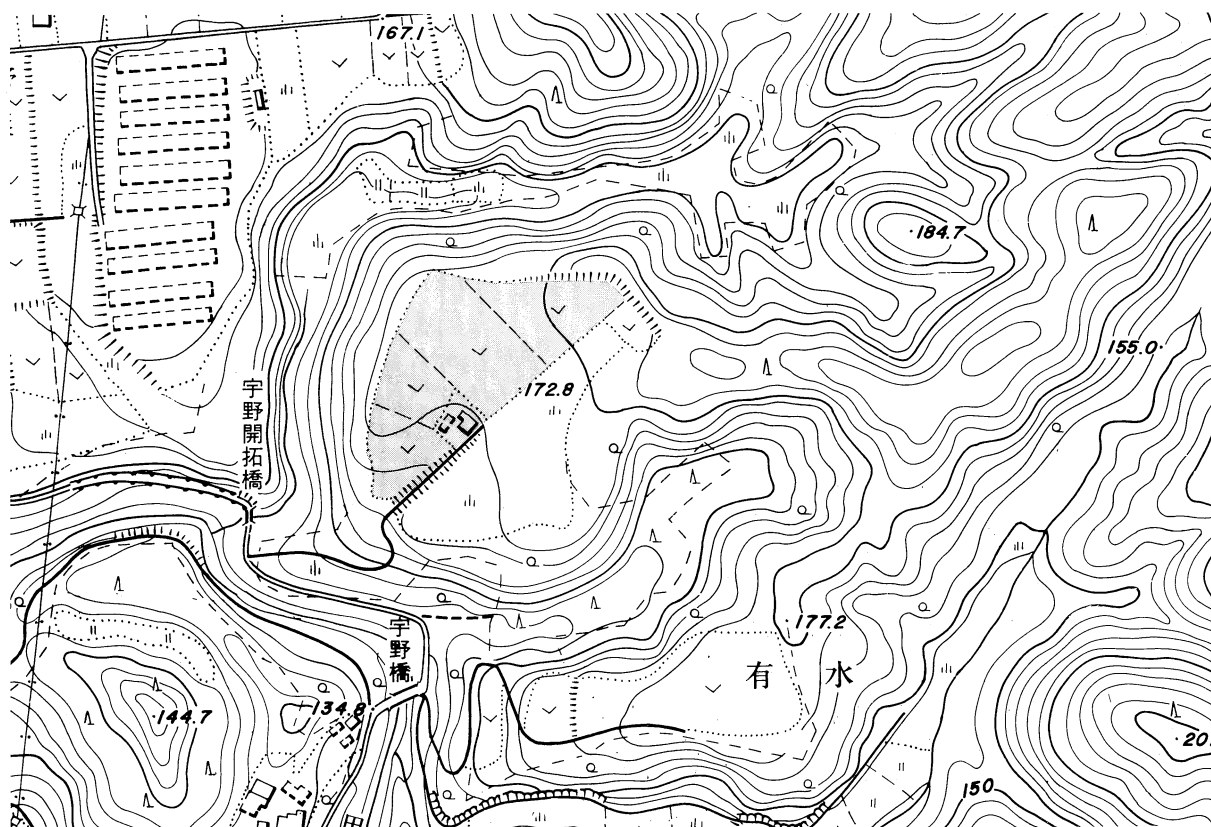
台地中央北側に位置する5、6、9号トレンチの遺存状況は良好であったが遺物・遺構ともに確認されなかった。

台地縁辺に位置する7、8、12号トレンチ及び台地中央南側に位置する17、18号トレンチでは畑造成の際の盛土が厚く検出された。また19号トレンチにおいては耕作土直下が第Ⅷ層・小林軽石となる。

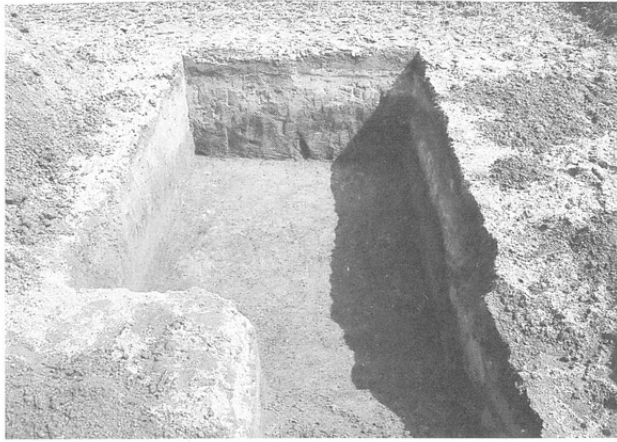
台地中央に位置する10、12～16号トレンチでは比較的良好な遺存状態が検出された。またその層序より台地の原地形が西から東南へ向け、緩やかな傾斜を形成していたことが窺えた。遺物は16号トレンチにおいて土器片1が出土した他は無く、数点の土器片が表採されたのみであった。



第8図 有限会社はざま養豚場建設工事予定地位置図(1/25,000)



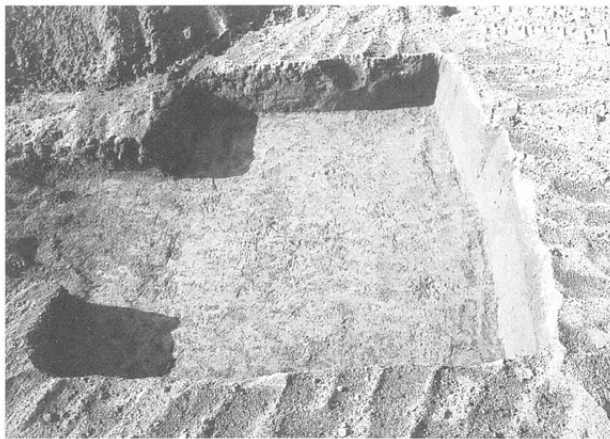
第9図 有限会社はざま養豚場建設予定地形図(1/5,000)



1号トレンチ



3号トレンチ



4号トレンチ



5号トレンチ



6号トレンチ

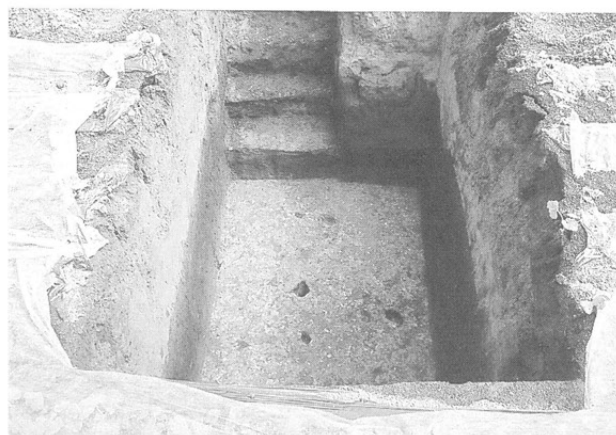


7号トレンチ

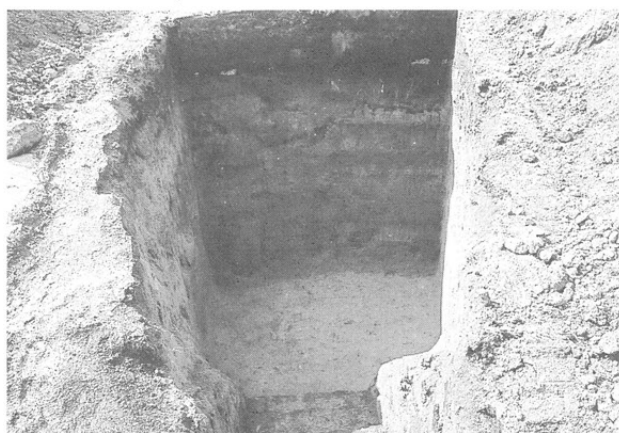
図版5 有限会社はざま養豚場建設予定地調査状況



9号トレンチ



10号トレンチ



11号トレンチ



12号トレンチ



13号トレンチ



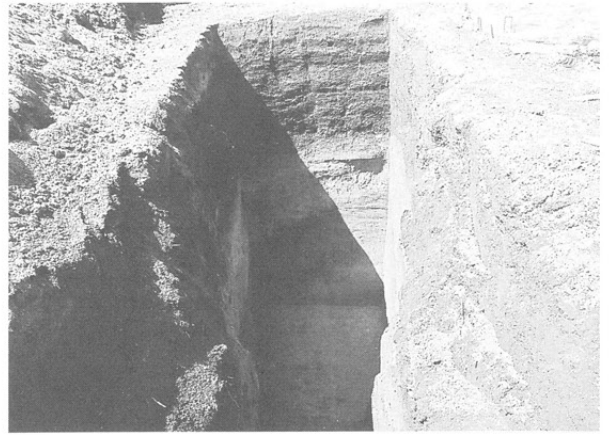
15号トレンチ

図版6 有限会社 はざま養豚場建設予定地調査状況

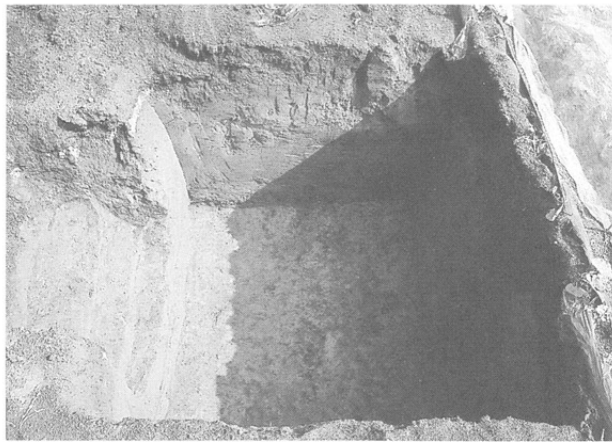




16号トレンチ



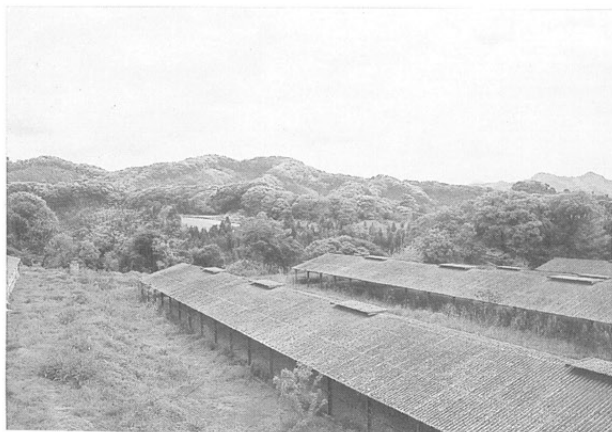
18号トレンチ



20号トレンチ



21号トレンチ



遺跡遠景



遺跡全景

図版7 有限会社はざま養豚場建設予定地調査状況



## 5 石山高取原地下式横穴墓発掘調査

### 位置と環境

石山高取原地下式横穴墓は高城町のほぼ中央部、北流する大淀川東岸に広がる沖積層の東側、鰐塚山系から派生する山地の西端にあたる台地(標高約150m)の西端に立地し、大字石山字高取原に所在する。地下式横穴墓のすぐ南側には県指定史跡高城町古墳群第16号墳、第17号墳が、同台地東側には同第15号墳が所在し、第15号墳脇では元亀二年(1571)銘の経典供養塔(自然石型・「供養六十六部」「念佛一百万遍」併記)が確認されている。また同台地上は「町内遺跡分布調査報告」(1998 高城町教育委員会)において高取原遺跡(縄文時代～古墳時代・中世：散布地)として記録されている。現在は畑地として利用されている。

本遺跡の周辺では台地東側において平成12、13年度に調査が実施され、縄文時代・弥生時代の竪穴住居、掘立柱建物等が出土した鳥井原第二遺跡、台地西側下沖積平野においては昭和33年に調査が実施され、地下式横穴墓、地下式板石積石室が出土した香禅寺遺跡<sup>(1)</sup>が確認されている。大淀川を挟んだ対岸には横尾地下式横穴墓群(高崎町)、原村上地下式横穴墓群(高崎町)、また高塚古墳と地下式横穴墓とが混在する高崎塚原地下式横穴墓群(高崎町)、築池地下式横穴墓群(都城市)が形成されている。

(註) (1) 宮崎県教育委員会 1959 「香禅寺遺跡」 『宮崎県分化財調査報告書』第4集

### 調査に至る経緯

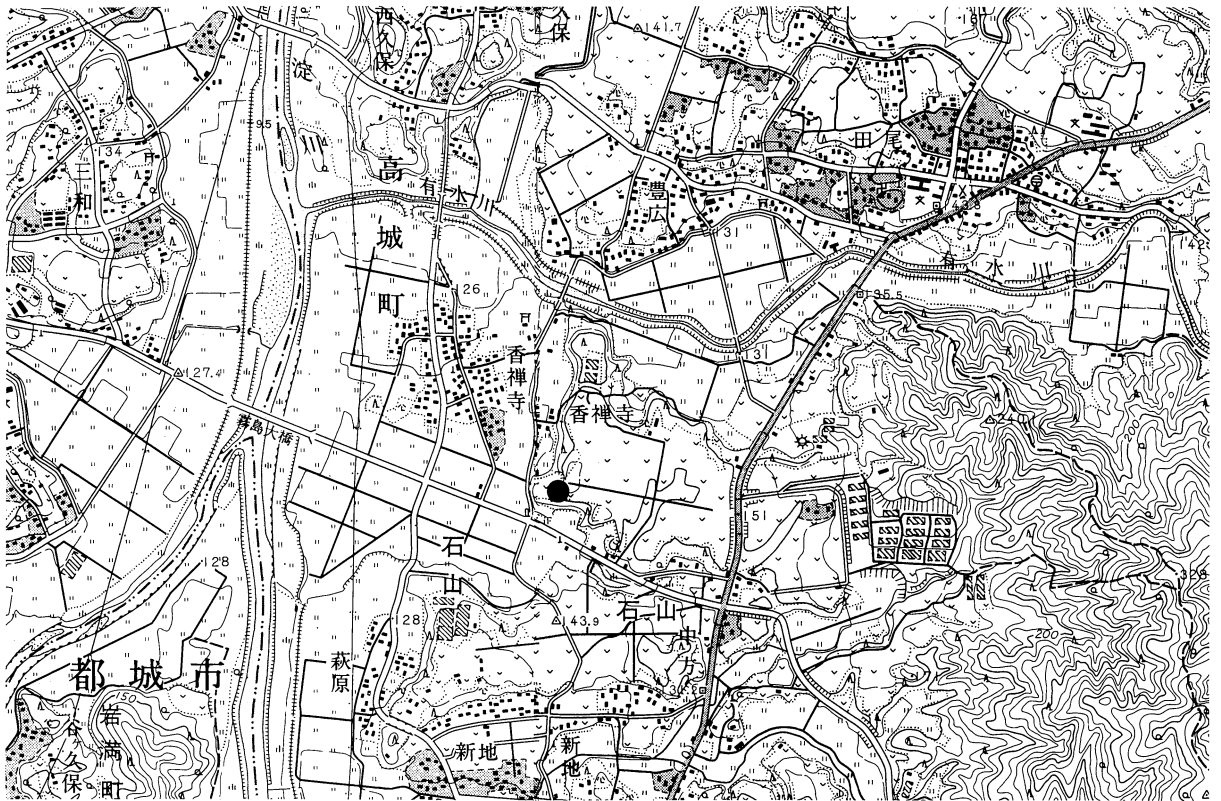
今回の調査は耕運機による耕作中の陥没に起因する。連絡をうけた高城町教育委員会が確認を行ったところ、地下式横穴墓玄室天井崩落からの陥没であることが確認されたため、土地所有者との協議を行い発掘調査を実施した。

### 調査の内容

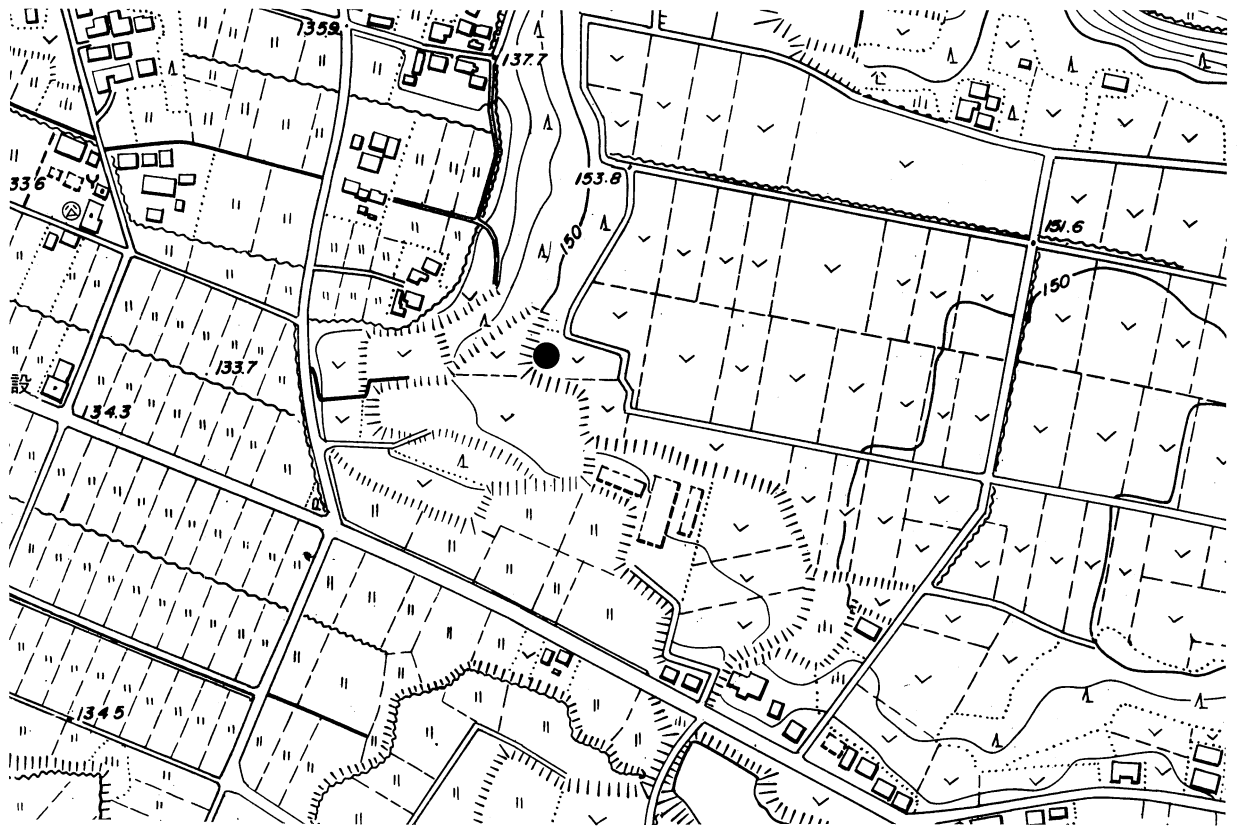
県指定史跡高城町古墳群第17号墳の北約14mに位置する。玄室天井部は耕作により崩壊する。竪坑の平面形は隅丸方形を呈し、検出面である黒色土上面では長軸192cm、短軸165cm、底面では長軸140cm、短軸123cm、検出面からの深さ146cmを測る。

羨門部は竪坑底面より一段高く、やや扁平な自然石を5段に積んだ閉塞の上に12枚の板石による貼石様の閉塞を持つ。羨道はやや開きながら玄室へと続き、羨門部幅65cm、玄門部幅110cm、長さ117cm、高さ約75cmを測る。

玄室は平入り片袖隅丸長方形を呈し、奥行き119cm、最大幅183cmを測る。玄室床面のほぼ直上より鉄剣3点、鉄鏃23点が出土した。また遺物の出土位置より、頭位を北にとる2体併葬と考えられ、頭位置と見られる部分には赤色顔料が確認された。



第10図 石山高取原地下式横穴墓位置図(1/25,000)



第11図 石山高取原地下式横穴墓地形図(1/5,000)



遺跡遠景



羨門閉塞状況 1



羨門閉塞状況 2

図版9 石山高取原地下式横穴墓調査状況 1





遺物出土状況 1



遺物出土状況 2



遺物出土状況 3

図版10 石山高取原地下式横穴墓調査状況 2



## 報告書抄録

フリガナ	チヨウナイイセキハックツチヨウサハウコクシヨ					
書名	町内遺跡発掘調査報告書Ⅲ					
シリーズ名	高城町文化財調査報告書					
シリーズ番号	第13集					
編集者名	近 沢 恒 典					
発行機関	高城町教育委員会					
所在地	宮崎県北諸県郡高城町大字穂満坊 46 番地 2					
発行年月日	2003 年 3 月					
所収遺跡名	所在地	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
中原第 2 遺跡	高城町大字四 家水字中原			2002, 4, 25 ~ 2002, 4, 27	44 m <sup>2</sup>	最終処分 場建設
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項
中原第 2 遺跡	散布地	平安時代			縄文土器	
所収遺跡名	所在地	北緯	東経	調査 期間	調査面積	調査原因
大開遺跡	高城町大字四 家字大開			2002, 8, 27~ 2002, 8, 28	24 m <sup>2</sup>	教職員住 宅建設
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項
大開遺跡	散布地	縄文・弥生時代				
所収遺跡名	所在地	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
田辺第 4 遺跡	高城町大字有 水字田辺			2002, 11, 18	8 m <sup>2</sup>	道路改良 工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項
田辺第 4 遺跡	散布地	縄文～古墳時 代				
所収遺跡名	所在地	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
宇野第 2 遺跡	高城町大字有 水字田辺			2003, 3, 10~ 2002, 3, 25	90.5 m <sup>2</sup>	養豚場建 設工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項
宇野第 2 遺跡	散布地	縄文・弥生時代			縄文土器	
所収遺跡名	所在地	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
高取原地下式横 穴墓	高城町大字石 山字高取原			2002, 9, 12~ 2002, 9, 30	6.5 m <sup>2</sup>	耕作中の 陥没
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項
高取原地下式横 穴墓	地下式 横穴墓	古墳時代		地下式横穴墓	鉄剣、鉄鏃	



高城町文化財調査報告書第13集  
町内遺跡発掘調査報告書Ⅲ

2003年3月発行

編集・発行	高城町教育委員会 宮崎県北諸県郡高城町大字穂満坊46番地2 郵便番号885-1202 電話番号0986-58-2317
印刷・製本	(有)アマガミ印刷 宮崎県北諸県郡高城町大字穂満坊144番地4 郵便番号885-1202 電話番号0986-58-5851